

賀詞交歓会

軽仮設リース業協会
仮設設計士の
広報活動に注力



軽仮設リース業協会（関山正勝会長）は23日、東京都内で賀詞交歓会を開き、仮設設計士の広報活動に注力することを共有し、連携を深めた。

関山会長「写真」は、昨年実施した仮設設計士検定結果に触れ、「第1種の受験者が154人で合格者が53人。第2種は253人の受験者数に対して合格者は223人だった」と報告。「今年は特に広報活動に注力し、ゼネコンの誰もがこの資格を知っている状態にしていきたい」と話した。来賓の国土交通省大臣官房参事官の森下博之氏は、「生産年齢人口が減る中で、担い手の確保と建設現場の省人化の取り組みを進めている。建設産業が一番DXが進んでいる業界だと言われるように頑張ってください。皆さまも一緒に取り組みでいただければありがたい」と述べた。

みんなで強い協会に

軽仮設リース業協会（関山正勝会長）は23日、東京都千代田区の霞山会館で新年賀詞交歓会を開いた。関山会長は、協会独自資格「仮設設計士」の検定結果に触れ、



「2種では合格率が88%となった。若手も徐々に育っている」と総括

した。今後に向けては、10年先を見据え「強い協会をみんなでつくる必要がある。足元の好況に油断することなく、一致団結していきましょう」と呼び掛けた。写真。来賓を代表して森下博之国土交通省官房参事官が祝辞を寄せ、日本建設機械施工協会の岩見吉輝業務執行理事の発声で乾杯し、歓談に移った。